



今治明德高等学校

矢田分校

〒794-0081

愛媛県阿方甲 287 番地

TEL 0898-25-3787

FAX 0898-25-6388

平成5年 今治明德学園 矢田分校として発足。

「一人の市民として真に自立できる学力（人間力）の養成を目標に掲げ、大きな学力＝人間力を育む教育の実践、人それぞれ違った個性を認め、自ら伸びようとする意欲を育む教育の実践に取り組む。

ボランティア活動は、将来の自己を生きし社会に貢献する社会人への基礎づくりだと考えている。

学級数：5 生徒数：115 普通科

今治国際ソロプチミストからの提案

生徒の保護者が幼稚園を経営されていたのがきっかけとなって、幼稚園児と一緒に年2回ほど野菜の共同栽培をしている。「お世話をする」体験が、思いやりの心の大切さをしり、自己有用感につながったようである。

今治国際ソロプチミスト（実業界、管理職、専門職等に従事する女性の国際的ボランティア奉仕組織）からの提案で、わが校の部活動アフリカ村おこし企画部が地域のチャリティバザーの商品搬入のお手伝いをしたり、近隣のイオンやフジの前でユニセフ募金をしたりしてソロプチミストと共同で行っている。

国際ソロプチミストの会員の方々からは、若い高校生が活動に参加すると、足を止めて募金をしてもらえることが多いと感謝される。また、カンボジアの地雷撤去や井戸を掘るため校内での募金活動をしている。



バザー手伝い



ユニセフ募金



エコキャップ運動



ボランティアは、他を思いやる心を育て、異年齢集団との交流ができるので必要だと思う。なにより、終わった後の達成感を得ることが出来る。しかし、定期テストや模試、部活動等で時間的制約があり、なかなか全校で取り組むことができない。

人の役に立ちたいと思う生徒もいるし時間がないと逃げてしまう生徒もいる。少しでも多くの生徒にボランティア活動を通じて達成感を味わってほしいと考えている。



今治精華高等学校

〒794-0055

愛媛県今治市中日吉町2丁目1番34号

TEL 0898-32-7100

FAX 0898-32-7105

大正15年 今治精華高等女学校創立

昭和25年 今治精華高等学校に改称

独立自尊の校訓のもと、徹底した基礎学力の充実、進路目標に応じた多彩なカリキュラムで、早い段階からの効果的な進路指導をし、文武両道で各種検定資格の習得を図る。

学級数：9 生徒数：243 普通科・調理科

食育フェスタで生徒が教える

調理科では3年ほど前より、常盤地区文化祭で地域の方と共にお餅やタコ焼きを販売している。地域からは、調理科の生徒が来ないと文化祭が回らないとまで言われる。また、最後まで片付けてくれて助かると感謝されることも多い。

老人福祉施設のイベントには、生徒会から全校に呼びかけて参加者を募る。看護師や介護士を目指している生徒が主に参加する。また、将来保育士になりたい生徒などは、市内の児童クラブの子どもと小学校の体育館でゲームをするなど、交流を深めている。

『ひろえば街が好きになる運動』では、今治のおんまく祭り終了後のゴミ拾い、近見山清掃においては他校の生徒と一緒に活動している。

JICA(ラオス)の活動は、2年前に愛媛出身でJICAの職員の方が講演に来られて、ラオスで運動会を実施したいが赤白帽子がないのでどうかしてほしいという依頼があった。学園祭で募金をして、地元の企業にお願いして届けることができた。ラオスの小学生からお礼の手紙が届き、生徒は自分たちがしたことが世界とつながったと思ったようだ。その後、生徒会で学園Tシャツを作成し収益金をJICAに送った。

生徒は、地域・社会への関心が高まり、知識を深め視野が広がった。また、協調性やコミュニケーション能力が身に付き、自分自身の成長につなげることができた。今後も、生徒会や調理科を中心に全校生徒を巻き込んで、継続したボランティア活動をしていきたいと思う。





済美高等学校

〒790-8560

愛媛県松山市湊町7丁目9-1

TEL 089-943-4185

FAX 089-943-3121

明治34年 私立松山裁縫傳習所が高知県出身の澤田亀により設立される

明治44年 済美高等女学校および済美女学校開校

昭和23年 済美高等学校設置認可

平成14年 男女共学となる。

「やればできる」を校訓に、自己を鍛え「確かな学力と「生きる力」を育て教育新時代を具現する教育の実践を目指す。

学級数： 生徒数：1350 普通科（特進E・S…文系・理系・音楽専攻、特進国際、特進スポーツ科学、総合…進学・情報・商業・食物科学） 美術科

各専門コースでボランティアをする

全校生徒での奉仕活動として、校外周辺の清掃がある。生徒は、きれいになると快適に過ごすことができることを知り、積極的に行っている。

ヤングボランティアの活動には54名が登録し活動した。年4回、市駅前にて行われる足なが街頭募金には希望者が多く、4月に150名、10月に75名参加した。家庭クラブでは、新玉老人クラブと交流している。また、毎年、済美幼稚園と交流活動がある。済美高校の運動会にも園児を招いている。生徒は、園児と遊び、お世話することがとても楽しいと言う。

各専門コースで割り振っている活動がほとんどである。生徒にとっては、ボランティアは進学に必要な活動なのでやらないといけないという意識があるが、いざ参加してみると、軽々しい気持ちでやってはいけないという気持ちになるようである。



ボランティアのきっかけは、進学によるものがほとんどである。しかし、体験してみると、生徒の心の変化もみられることがあるため、よい機会をあたえることになっていると思う。

個人的に県のヤングボランティアセンターに登録し東北へ行った生徒もいた。

ボランティアは、身近なところにあるもの、生徒が積極的に参加・行動して育ってほしいと考えている。



聖カタリナ女子高等学校

〒790-8557

愛媛県松山市藤原町 468 番地

TEL089-933-3291 FAX089-926-4033

〒790-8557

愛媛県松山市永代町 10 番地 1

TEL089-933-4353 FAX089-934-9041

昭和元年 松山美善女学校開校

昭和 23 年 松山女子商業高等学校と改称

昭和 43 年 聖カタリナ女子高等学校と改称

カトリック精神に基づき、人や社会に奉仕していく友愛の精神を育み、「誠実・純潔・奉仕」の校訓のもと、人格教育に力を注いでいる。

学級数： 生徒数： 普通科・総合学科・看護科

カトリックの学校としての取り組み

学校全体としては、毎年 4 月、10 月、市駅前にて足なが育英募金、10 月、11 月、12 月に赤い羽根共同募金、12 月にはクリスマス街頭募金（昨年までは東日本大震災）を行っている。各クラスに募集チラシを配布、参加できる曜日を記入してもらって参加日時を決定する。

夏休みサマーボランティアには、総合学科・看護科は全員参加、普通科は希望者。保育園・幼稚園・福祉関係・図書館（書庫の整理等）の中から自分で選んで自分で連絡して行ってもらう。生徒は、自己責任で行くので、よく考えて行動しなくてはいけないことも多くてそれがよかったという感想が多い。

本校には、ボランティア活動をしているエンジェル部がある。月 1 回私立病院のディケアサービスに行って高齢者と交流しているが、生徒は月 1 回の訪問なので、高齢者と親しくなることも多く、顔が見えないといろいろ心配したりする。また、県病院の小児病棟でのクリスマス会の活動や、手話の勉強を活かし



て、11 月の高校総合文化祭では手話通訳のボランティアをしている。小児病棟での活動は、小さな子が点滴をしていると複雑な気持ちになるが、喜んでもらえて嬉しいという。

5 月の聖母月は全校生徒が福祉活動をする。地域の独居老人を訪問する生徒と、学校に残って養護施設に手紙を書いたり東北へ千羽鶴を折ったりする生徒に分かれる。

ボランティアは、すればするだけいただくものは多い。自分のためにしているわけではないが、もらってかえるものは大きいと思う。いろんな問題にぶつかることもあるが、それを乗り越える力をどうつけていくかが今後の課題である。